

糖尿病・内分泌・栄養内科

■内科医として適切な診療を行なうための能力を身に着ける。

- 全科に共通する病歴聴取など基本的な医療面接、身体診察に習熟する。
- 一般的な臨床検査、画像診断に関する的確な計画を立案し、基本的な所見評価が可能となる。
- 診療録の的確な記載および退院サマリーが作成できる。
- 上級医や他科の医師また医師以外の医療スタッフ（看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士など）に対して意思伝達や情報共有が行える。
- 緊急的な処置に際して、状況に応じた的確に役割を果たすことができる。

■糖尿病・内分泌・栄養内科の専門分野の診療技能を習得する。

- 糖尿病の成因・病態分類を行える。
- 糖尿病慢性合併症である網膜症、腎症、神経障害、動脈硬化性疾患について検査を計画することや所見の評価ができる。
- 患者さんの生活背景、社会的背景について聴取できる能力を身につける。
- 糖尿病の食事療法、運動療法、薬物療法の基本について習熟する。
- 糖尿病の病態、合併症、併存症、社会的背景を総合的に考察し、上級医と共に治療を行える。
- 糖尿病性ケトアシドーシス、高血糖性高浸透圧症候群、低血糖に関する診断や治療に習熟する。
- 糖尿病患者のシックデイへの対応が行える。
- 患者教育、療養指導の重要性について認識を深め、実践する。
- 糖尿病チームの医師として、主治医団で検討した治療方針を医師以外の医療スタッフに明確に伝達し、指示を出せる。
- 各内分泌疾患における特徴的な身体所見について診察が行える。
- 各種ホルモン測定の見直し計画が立案でき、基礎値また上級医の指導下に行った負荷試験の結果を評価できる。
- 各内分泌臓器の画像検査を計画し、所見の評価を行える。
- 甲状腺、下垂体、副腎他の内分泌疾患に関して身体所見、ホルモン検査、画像所見を総合的に考察し、上級医と共に治療を行える。
- 副腎クリーゼや甲状腺クリーゼの治療に習熟する。

■研修が推奨される診療科

- ◆ 初期診療・救急科
- ◆ 循環器内科
- ◆ 腎臓内科
- ◆ 神経内科
- ◆ その他の内科診療科